



I 第15週の発生動向 (2026/4/6~2026/4/12)

- インフルエンザについては、**西北保健所管内の注意報は解除**となりました。
- 日頃から手洗い等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「マラリア」です。

最終ページに掲載しています。

II 第15週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東津軽+青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	28	2.55	17	1.70	11	1.10	27	4.50	28	3.11	21	3.50	132	2.54	-116
	新型コロナウイルス感染症	21	1.91	5	0.50	30	3.00	18	3.00	32	3.56	3	0.50	109	2.10	-21
	急性呼吸器感染症	673	61.18	341	34.10	385	38.50	252	42.00	370	41.11	297	49.50	2318	44.58	-262
小児科	RSウイルス感染症	4	0.67	1	0.17	3	0.43			3	0.50			11	0.32	-5
	咽頭結膜熱	1	0.17			4	0.57							5	0.15	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	3.00	14	2.33	19	2.71	11	2.20	8	1.33	1	0.25	71	2.09	9
	感染性胃腸炎	17	2.83	12	2.00	44	6.29	17	3.40	6	1.00	3	0.75	99	2.91	-18
	水痘			3	0.50	1	0.14							4	0.12	2
	手足口病							1	0.20					1	0.03	0
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん	6	1.00			2	0.29	1	0.20					9	0.26	6
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎															0
眼科	急性出血性結膜炎															-1
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00					1	0.17	-1
	無菌性髄膜炎															0

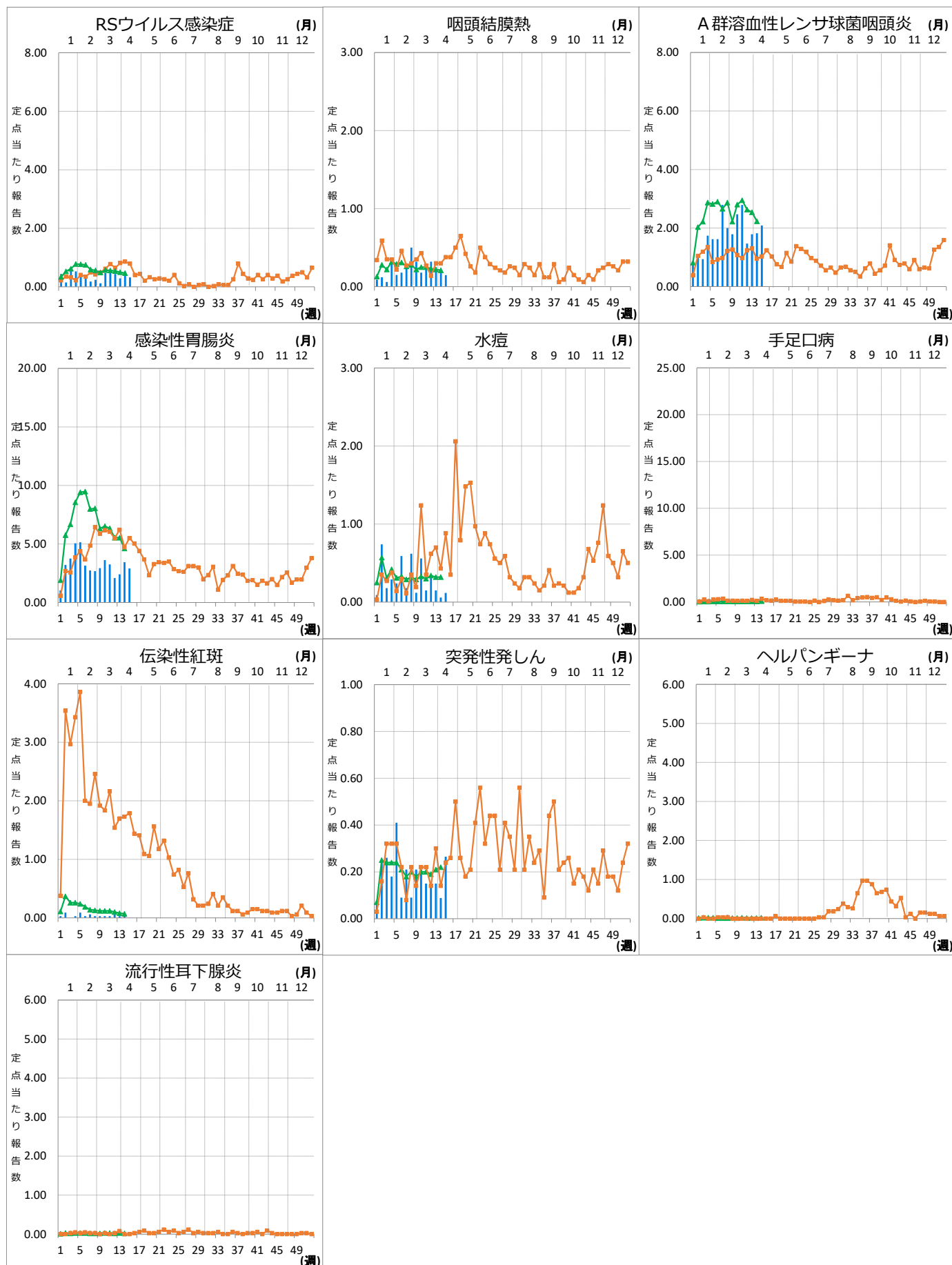
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第15週、ただし全国は前週)

グラフの説明: 青線は2026年青森県、赤線は2025年青森県、緑線は2026年全国



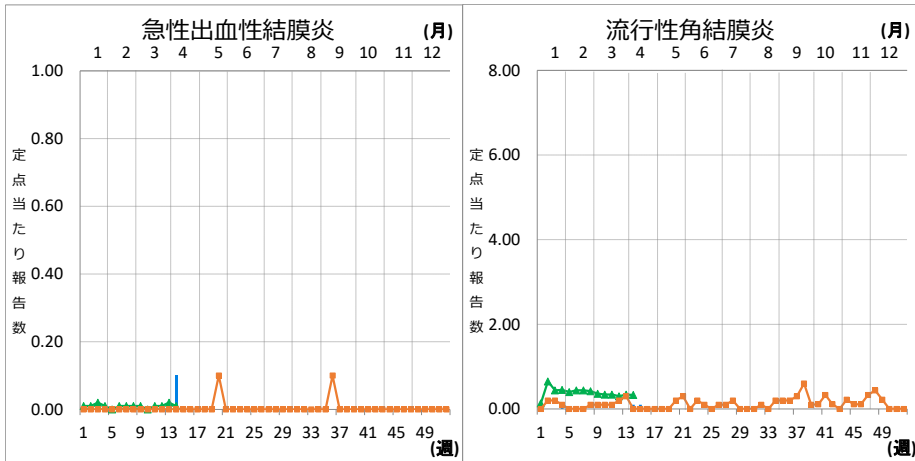
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026年第15週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は2026年青森県、 は2025年青森県、 は2026年全国



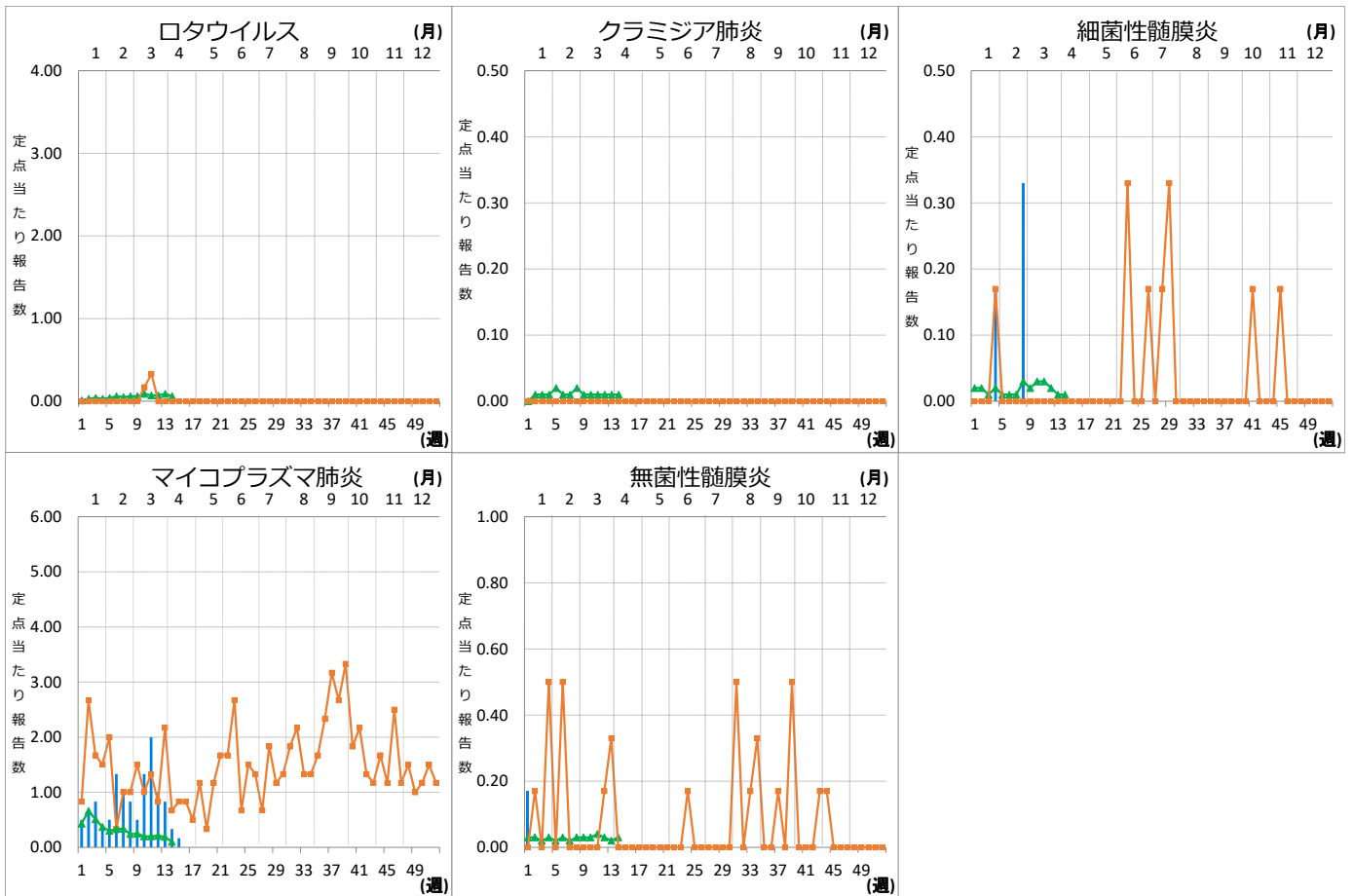
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026年第15週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026年第15週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026年第8週～15週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週
提出検体数	7	11	5	6	10	7	10	7
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	4	7	2	1	1	3	3	
SARS-CoV-2	0	1	0	0	1	1	2	
RSウイルスA	1	2	0	2	3	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	0	0	1	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	1	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	1	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	1	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	1	0	2	3	0	0	1	
アデノウイルス	1	0	2	1	0	0	0	
不検出	1	2	1	1	6	2	3	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	7

※第8週に提出された検体のうち、RSウイルスA及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

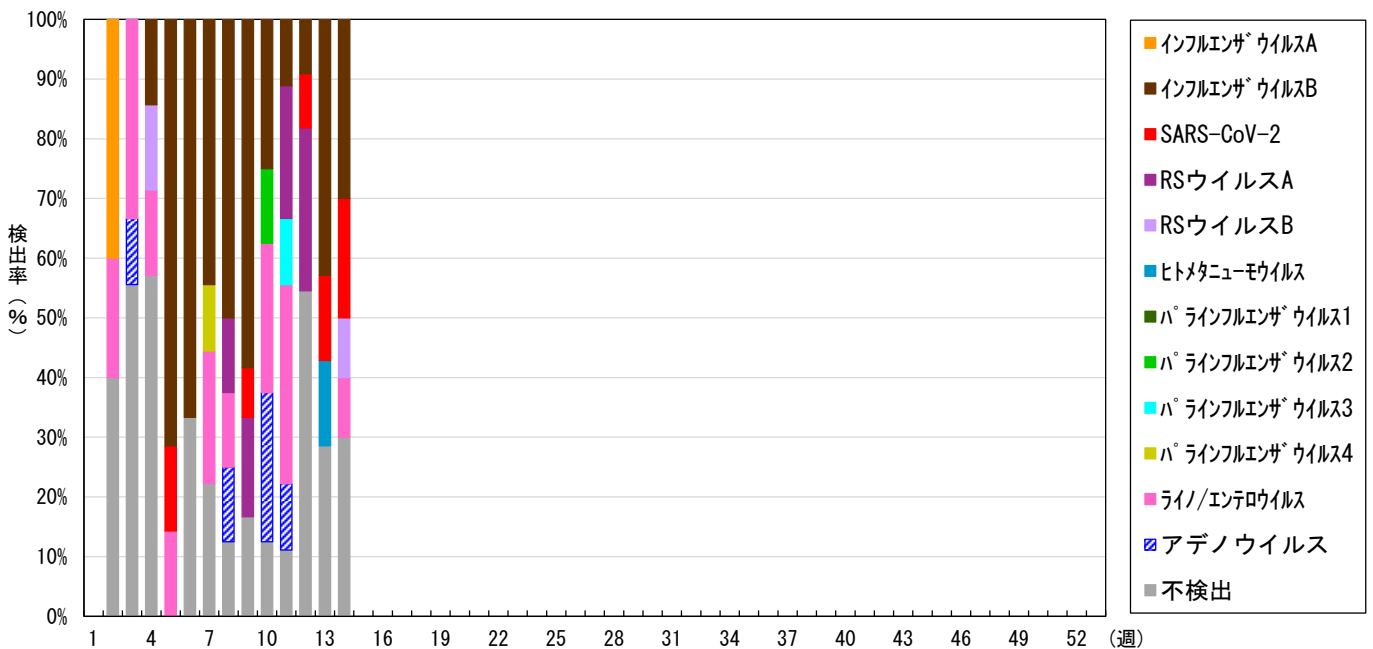
※第9週に提出された検体のうち、SARS-CoV-2及びRSウイルスAが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第10週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが検出されたものが1検体、インフルエンザウイルスB、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第11週に提出された検体のうち、RSウイルスA、パラインフルエンザウイルス3、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第12週に提出された検体のうち、SARS-CoV-2及びRSウイルスAが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026年第1週～14週)



Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（第 15 週）

- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：上北 1 人 (2026 年計： 6 人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：中南 1 人 (2026 年計： 6 人)
- ・梅毒（五類感染症）：中南 1 人、上北 1 人 (2026 年計： 4 人)
- ・百日咳（五類感染症）：八戸市 2 人 (2026 年計： 15 人)

Ⅷ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 12 週～2026 年第 15 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
12	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人			水痘(入院例)1人		百日咳1人
13		侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人	結核1人 クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人 百日咳1人			
14	結核1人 侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳2人			
15		侵襲性肺炎球菌感染 症1人 梅毒1人	百日咳2人		腸管出血性大腸菌感 染症1人 梅毒1人	

第 13 週に八戸市保健所管内でクロイツフェルト・ヤコブ病 1 人の届出がありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第14週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス	オウム病
累積報告数	3494	24	445	6	5	171	51	4	35	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	1	7	34	24	7	1	10	435	3	128

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	51	263	6	127	3	43	419	230	9	143

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	16	880	193	2767	53	18	23	2219	1	236

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	6

青森県（2026年第1週～第15週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	19	6	3	2	5	1	4	6	6	4

分類	五類
疾病名	百日咳
累積報告数	15

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第15週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第15週	介護・老人福祉関係施設	14	上北保健所
第15週	児童・婦人関係施設等	31	上北保健所

2026年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14週	15週	16週	17週	18週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	0	1											11
	発症者数	37	44	69	0	14											164
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	1	1											7
	発症者数	92	0	30	12	31											165
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0											2
	発症者数	20	0	18	0	0											38
その他施設	件数	0	0	0	0	0											0
	発症者数	0	0	0	0	0											0
計(月別)	件数	7	2	8	3												20
	発症者数	149	44	117	57												

感染症の窓

4月25日は世界マラリアデーです。

マラリアは、マラリア原虫を保有する蚊に刺されることで感染する急性熱性疾患です。この感染症は、ヒトからヒトへ直接的に感染することはありません。

世界では、年間2億人以上が罹患し、多くは熱帯地域で発生しますが、温帯地域での報告もあります。現在、日本では定着していませんが、海外からの輸入例が毎年報告されています。

主な症状は、発熱、悪寒、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などで、重症化すると、脳症、腎障害、重症貧血や出血傾向を生じ、死に至ることがあります。

マラリアの治療には抗マラリア薬を投与します。また、国内で承認されたマラリアのワクチンはありませんが、抗マラリア薬による予防内服が承認されています。

マラリアは、蚊が媒介しますので、蚊に刺されないための対策が重要です。屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装にし、虫除け剤を使用しましょう。

また、帰国後に症状があらわれた場合は速やかに医療機関を受診し、海外への渡航歴を申し出るようにしてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

👉 [マラリア\(国立健康危機管理研究機構 HP\)](#)

マラリア

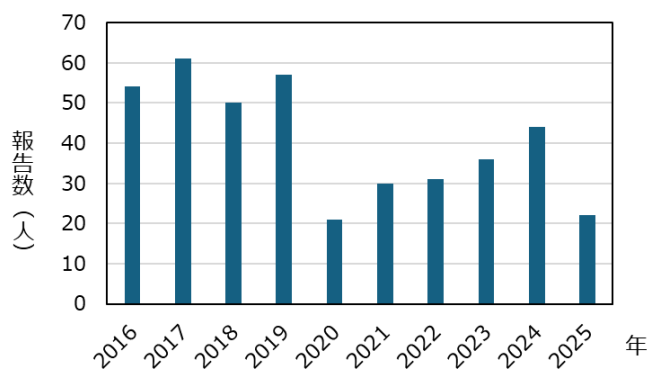


図 過去10年間の国内でのマラリアの報告数

